

2-1 事業所数（従業者4人以上の事業所）

事業所数は2,466事業所で、前年に比べ4.6%減となり、2年連続減少となった。

内訳をみると、会社（株式、合資など）が2,094事業所（構成比84.9%）、組合・その他の法人が35事業所（構成比1.4%）、個人が337事業所（構成比13.7%）となった。

産業別の内訳をみると、繊維の644事業所（構成比26.1%）が最も多く、以下、その他（眼鏡・漆器等）の326事業所（構成比13.2%）、食料品の249事業所（構成比10.1%）の順になった。

前年と比べる（寄与度※順）と、生産用機械（前年比1.4%）、非鉄金属（前年比13.3%）など4業種で増加し、繊維（前年比▲6.3%）、金属（前年比▲6.9%）など17業種で減少となった。

【産業中分類別統計表1-1、1-2】

※ 寄与度とは、対前年比の増減に対して、規模別、中分類別の増減分がどれだけ全体に影響を与えたかを示したもの

A産業の寄与度 = A産業の対前年比増減率 × A産業の製造業に占める前年の構成比

図1 事業所数と対前年比の推移（従業者4人以上の事業所）

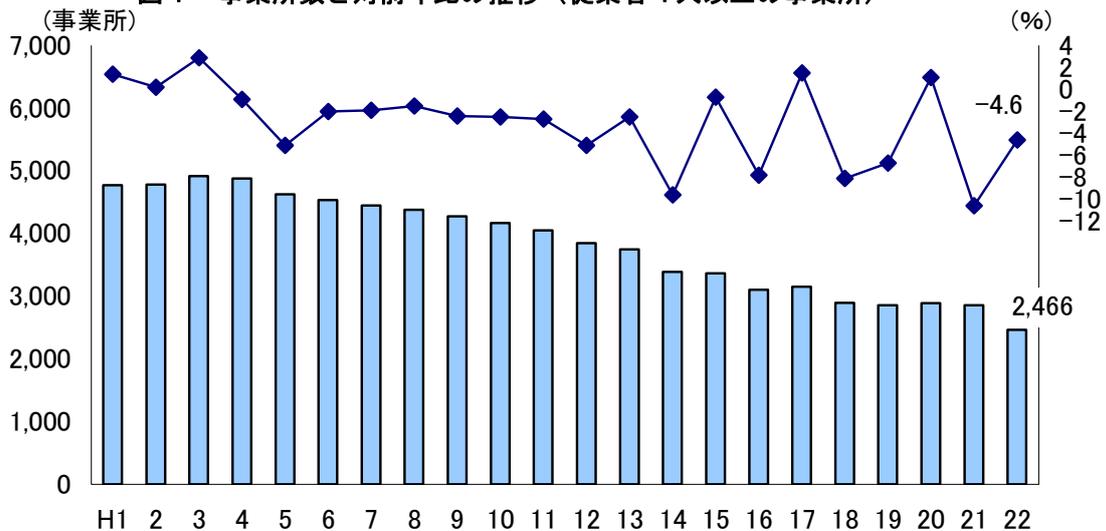
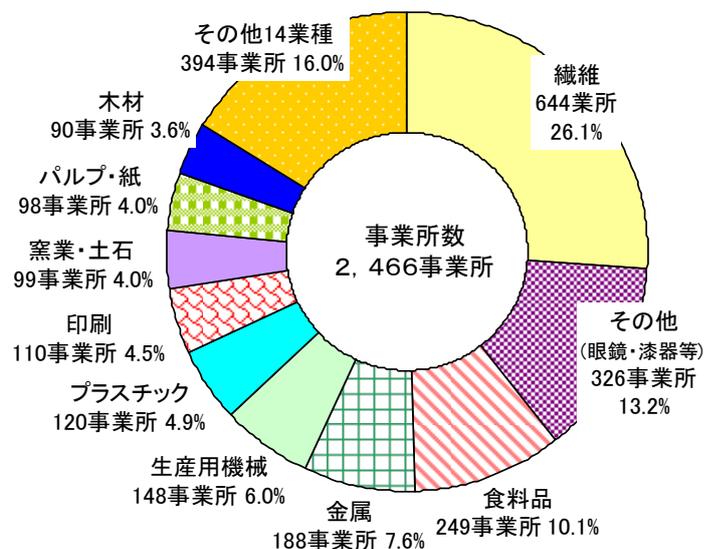


表2 中分類別 事業所数

産業中分類	21年		22年		対前年比 (%)
	事業所数	構成比 (%)	事業所数	構成比 (%)	
合計	2,585	100.0	2,466	100.0	▲ 4.6
9 食 料 品	255	9.9	249	10.1	▲ 2.4
10 飲 料 ・ 飼 料	32	1.2	30	1.2	▲ 6.3
11 織 維	687	26.6	644	26.1	▲ 6.3
12 木 材	101	3.9	90	3.6	▲ 10.9
13 家 具	59	2.3	57	2.3	▲ 3.4
14 パ ル プ ・ 紙	100	3.9	98	4.0	▲ 2.0
15 印 刷	110	4.3	110	4.5	0.0
16 化 学	58	2.2	58	2.4	0.0
17 石 油 ・ 石 炭	9	0.3	10	0.4	11.1
18 プ ラ ス チ ッ ク	129	5.0	120	4.9	▲ 7.0
19 ゴ ム	6	0.2	5	0.2	▲ 16.7
20 皮 革	3	0.1	3	0.1	0.0
21 窯 業 ・ 土 石	107	4.1	99	4.0	▲ 7.5
22 鉄 鋼	22	0.9	21	0.9	▲ 4.5
23 非 鉄 金 属	15	0.6	17	0.7	13.3
24 金 属	202	7.8	188	7.6	▲ 6.9
25 は ん 用 機 械	42	1.6	33	1.3	▲ 21.4
26 生 産 用 機 械	146	5.6	148	6.0	1.4
27 業 務 用 機 械	21	0.8	19	0.8	▲ 9.5
28 電 子 ・ デ バ イ ス	49	1.9	47	1.9	▲ 4.1
29 電 気 機 械	72	2.8	64	2.6	▲ 11.1
30 情 報 通 信 機 械	4	0.2	5	0.2	25.0
31 輸 送 機 械	27	1.0	25	1.0	▲ 7.4
32 そ の 他	329	12.7	326	13.2	▲ 0.9

図2 事業所数の中分類別構成比



2-2 従業者数（従業者4人以上の事業所）

従業者数は69,545人で、前年に比べ0.8%減となり、4年連続減少となった。

内訳をみると、個人事業主および無給家族従業者が5,944人（構成比0.9%）、常用労働者が68,951人（構成比99.1%）となった。

産業別に内訳をみると、繊維の15,874人（構成比22.8%）が最も多く、以下、電子・デバイスの8,731人（構成比12.6%）、その他（眼鏡・漆器等）の5,728人（構成比8.2%）の順になった。

前年と比べる（寄与度順）と、輸送機械（前年比9.9%）、生産用機械（前年比5.5%）など10業種で増加し、電子・デバイス（前年比▲4.6%）、繊維（前年比▲1.5%）など14業種で減少となった。

【産業中分類別統計表1-1、1-2】

図3 従業者数と対前回比の推移（従業者4人以上の事業所）

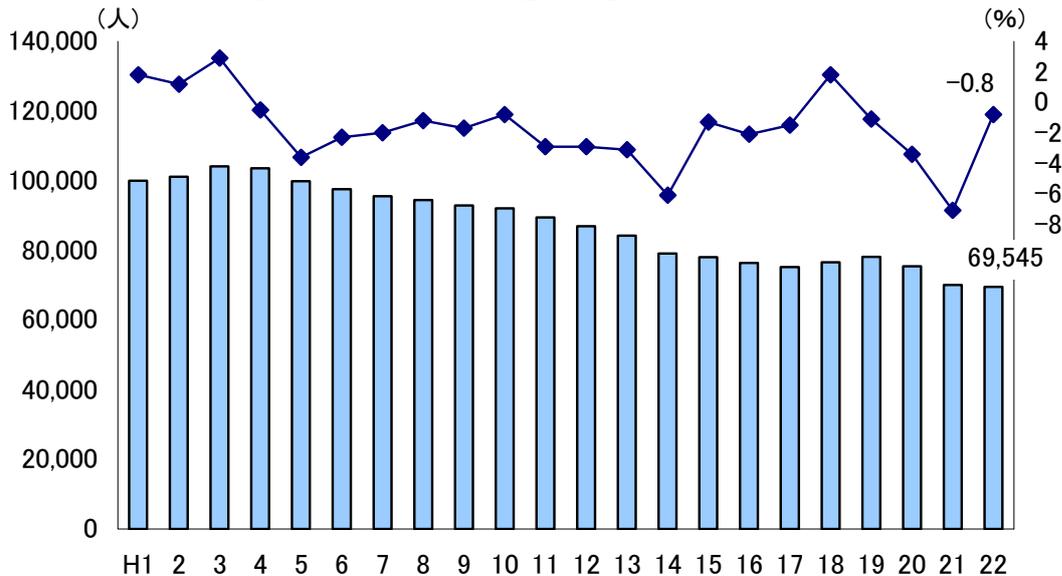
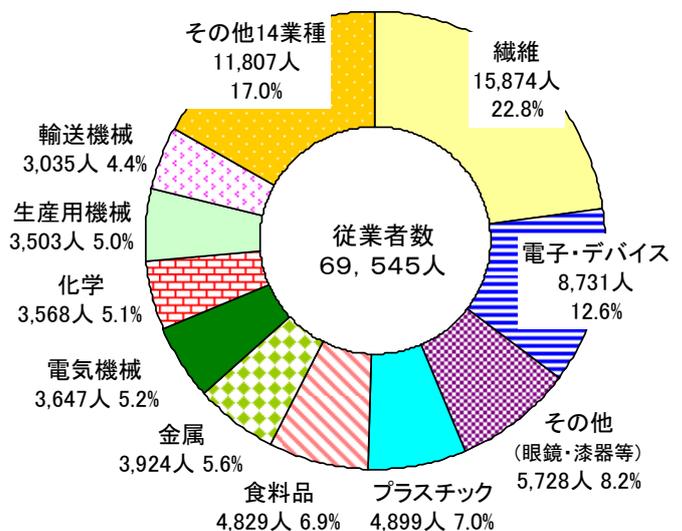


表3 中分類別 従業者数

産業中分類	21年		22年		対前年比 (%)
	人	構成比 %	人	構成比 %	
合計	70,075	100.0	69,545	100.0	▲ 0.8
9 食 料 品	4,942	7.1	4,829	6.9	▲ 2.3
10 飲 料・飼 料	306	0.4	305	0.4	▲ 0.3
11 繊 維	16,122	23.0	15,874	22.8	▲ 1.5
12 木 材	1,166	1.7	1,164	1.7	▲ 0.2
13 家 具	707	1.0	740	1.1	▲ 4.7
14 パ ル プ・紙	1,780	2.5	1,739	2.5	▲ 2.3
15 印 刷	2,145	3.1	2,151	3.1	0.3
16 化 学	3,507	5.0	3,568	5.1	1.7
17 石 油・石 炭	82	0.1	90	0.1	9.8
18 プ ラ ス チ ッ ク	4,872	7.0	4,899	7.0	0.6
19 ゴ ム	168	0.2	167	0.2	▲ 0.6
20 皮 革	55	0.1	54	0.1	▲ 1.8
21 窯 業・土 石	2,129	3.0	2,035	2.9	▲ 4.4
22 鉄 鋼	392	0.6	376	0.5	▲ 4.1
23 非 鉄 金 属	1,169	1.7	1,192	1.7	2.0
24 金 属	4,083	5.8	3,924	5.6	▲ 3.9
25 は ん 用 機 械	742	1.1	612	0.9	▲ 17.5
26 生 産 用 機 械	3,319	4.7	3,503	5.0	5.5
27 業 務 用 機 械	875	1.2	901	1.3	3.0
28 電 子・デ バ イ ス	9,150	13.1	8,731	12.6	▲ 4.6
29 電 気 機 械	3,651	5.2	3,647	5.2	▲ 0.1
30 情 報 通 信 機 械	210	0.3	281	0.4	33.8
31 輸 送 機 械	2,762	3.9	3,035	4.4	9.9
32 そ の 他	5,741	8.2	5,728	8.2	▲ 0.2

図4 従業者数の中分類別構成比



2-3 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）

製造品出荷額等は、1兆8,070億円で、前年に比べ8.0%増となり、3年ぶりの増加となった。

内訳をみると、製造品出荷額が1兆5,681億円（構成比86.8%）、加工賃収入額が1,466億円（構成比8.1%）、くず・廃物の出荷額が2億円（構成比0.01%）、修理工賃収入額が63億円（構成比0.3%）、その他の収入額が859億円（構成比4.8%）となった。

産業別に内訳をみると、電子・デバイスの2,834億円（構成比15.7%）が最も多く、以下、化学の2,771億円（構成比15.3%）、繊維の2,306億円（構成比12.8%）の順になった。

前年と比べる（寄与度順）と、電子・デバイス（前年比17.2%）、化学（前年比12.2%）など18業種で増加し、金属（前年比▲8.6%）、窯業・土石（前年比▲8.6%）など6業種で減少となった。

1事業所当たりの製造品出荷額等は、7億3,277万円で、前年より8,542万円増加した。

【産業中分類別統計表1-1、1-3】

図5 製造品出荷額等と対前年比の推移（従業者4人以上の事業所）

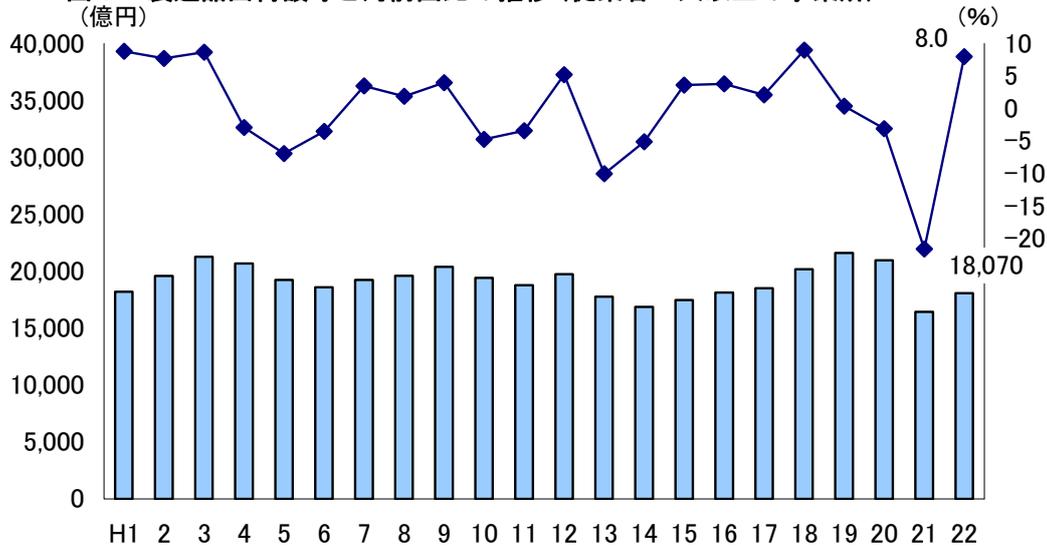
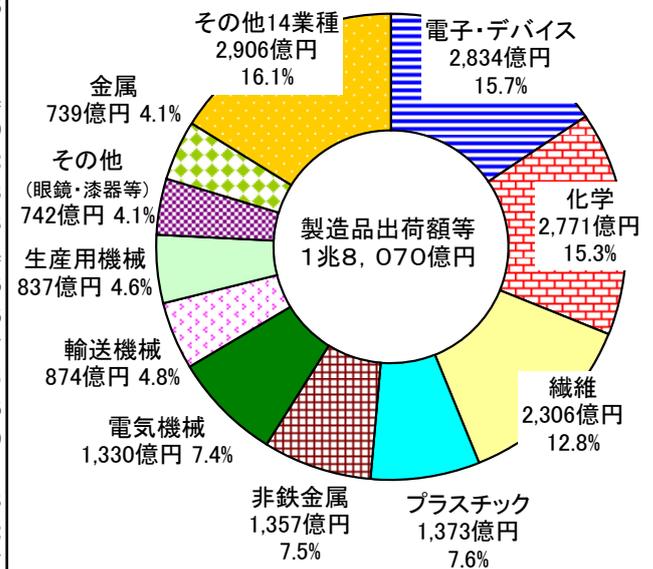


表4 中分類別 製造品出荷額等

産業中分類	21年		22年		対前年比
	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %	
合計	1,673,401	100.0	1,807,006	100.0	8.0
9 食料品	55,865	3.3	57,605	3.2	3.1
10 飲料・飼料	5,541	0.3	5,673	0.3	2.4
11 繊維	229,322	13.7	230,643	12.8	0.6
12 木材	21,611	1.3	20,067	1.1	▲7.1
13 家具	10,666	0.6	10,012	0.6	▲6.1
14 パルプ・紙	47,050	2.8	49,568	2.7	5.4
15 印刷	28,867	1.7	29,405	1.6	1.9
16 化学	246,932	14.8	277,141	15.3	12.2
17 石油・石炭	4,464	0.3	4,656	0.3	4.3
18 プラスチック	129,153	7.7	137,304	7.6	6.3
19 ゴム	840	0.1	843	0.0	0.4
20 皮革	395	0.0	413	0.0	4.6
21 窯業・土石	56,893	3.4	51,977	2.9	▲8.6
22 鉄鋼	19,843	1.2	25,931	1.4	30.7
23 非鉄金属	117,490	7.0	135,717	7.5	15.5
24 金属	80,874	4.8	73,917	4.1	▲8.6
25 はん用機械	13,291	0.8	14,205	0.8	6.9
26 生産用機械	67,478	4.0	83,710	4.6	24.1
27 業務用機械	13,509	0.8	11,313	0.6	▲16.3
28 電子・デバイス	241,750	14.4	283,364	15.7	17.2
29 電気機械	118,052	7.1	132,994	7.4	12.7
30 情報通信機械	5,881	0.4	8,921	0.5	51.7
31 輸送機械	79,724	4.8	87,394	4.8	9.6
32 その他	77,911	4.7	74,234	4.1	▲4.7

図6 製造品出荷額等の中分類別構成比



2-4 粗付加価値額（従業者4人以上の事業所）

粗付加価値額は、7,403億円で、前年に比べ7.7%増となった。

産業別に内訳をみると、化学の1,188億円（構成比16.0%）が最も多く、以下、電子・デバイスの1,187億円（構成比16.0%）、繊維の938億円（構成比12.7%）の順になった。

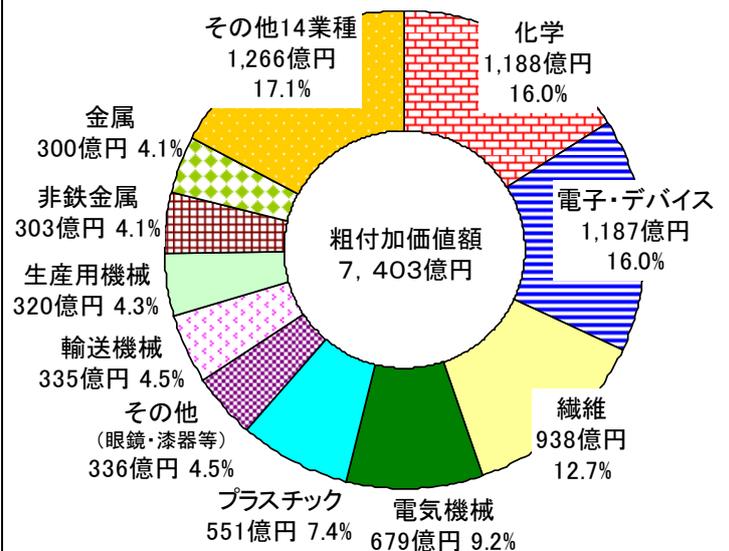
前年と比べる（寄与度順）と、電子・デバイス（前年比16.8%）、電気機械（前年比18.1%）など16業種で増加し、窯業・土石（前年比▲15.7%）、その他（眼鏡・漆器等）（前年比▲5.9%）など8業種で減少となった。

【産業中分類別統計表1-1】

表5 中分類別 粗付加価値額

産業中分類	21年		22年		対前 年比 %
	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %	
合 計	687,063	100.0	740,257	100.0	7.7
9 食 料 品	25,170	3.7	24,872	3.4	▲1.2
10 飲 料・飼 料	3,096	0.5	3,177	0.4	2.6
11 織 維	95,222	13.9	93,765	12.7	▲1.5
12 木 材	5,304	0.8	4,887	0.7	▲7.9
13 家 具	4,441	0.6	3,863	0.5	▲13.0
14 バ ル プ・紙	20,860	3.0	23,099	3.1	10.7
15 印 刷	15,796	2.3	16,561	2.2	4.8
16 化 学	110,453	16.1	118,809	16.0	7.6
17 石 油・石 炭	1,205	0.2	1,714	0.2	42.2
18 プ ラ ス チ ッ ク	50,484	7.3	55,078	7.4	9.1
19 ゴ ム	251	0.0	434	0.1	72.7
20 皮 革	127	0.0	131	0.0	3.1
21 窯 業・土 石	30,849	4.5	26,004	3.5	▲15.7
22 鉄 鋼	5,490	0.8	9,554	1.3	74.0
23 非 鉄 金 属	27,866	4.1	30,325	4.1	8.8
24 金 属	31,587	4.6	30,007	4.1	▲5.0
25 は ん 用 機 械	5,492	0.8	3,680	0.5	▲33.0
26 生 産 用 機 械	23,794	3.5	31,973	4.3	34.4
27 業 務 用 機 械	4,892	0.7	5,465	0.7	11.7
28 電 子・デ バ イ ス	101,586	14.8	118,654	16.0	16.8
29 電 気 機 械	57,526	8.4	67,938	9.2	18.1
30 情 報 通 信 機 械	1,591	0.2	3,161	0.4	98.7
31 輸 送 機 械	28,263	4.1	33,505	4.5	18.5
32 そ の 他	35,715	5.2	33,601	4.5	▲5.9

図7 粗付加価値額の中分類別構成比



2-5 付加価値額（従業者4人以上の事業所）

付加価値額は、6,656億円で、前年に比べ14.7%増となった。

産業別に内訳をみると、化学の1,103億円（構成比16.6%）が最も多く、以下、電子・デバイスの1,045億円（構成比15.7%）、繊維の837億円（構成比12.6%）の順になった。

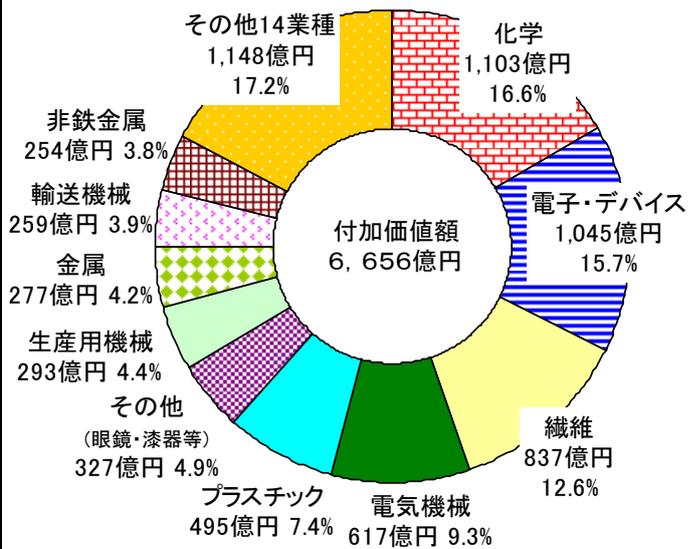
前年と比べる（寄与度順）と、電子・デバイス（前年比44.0%）、化学（前年比13.9%）など18業種で増加し、窯業・土石（前年比▲21.0%）、金属（前年比▲8.7%）など6業種で減少となった。

また、従業者30人以上の事業所の付加価値率は、37.5%となり、前年より2.2ポイント上昇した。
【産業中分類別統計表1-1、3-3】

表6 中分類別 付加価値額

産業中分類	21年		22年		対前 年比 %
	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %	
合 計	580,075	100.0	665,621	100.0	14.7
9 食 料 品	24,300	4.2	24,069	3.6	▲ 0.9
10 飲 料 ・ 飼 料	3,090	0.5	3,141	0.5	1.6
11 織 維	81,272	14.0	83,712	12.6	3.0
12 木 材	4,615	0.8	4,704	0.7	1.9
13 家 具	4,349	0.7	3,807	0.6	▲ 12.5
14 パ ル プ ・ 紙	18,867	3.3	21,093	3.2	11.8
15 印 刷	14,746	2.5	15,797	2.4	7.1
16 化 学	96,849	16.7	110,347	16.6	13.9
17 石 油 ・ 石 炭	1,205	0.2	1,714	0.3	42.2
18 プ ラ ス チ ッ ク	42,652	7.4	49,525	7.4	16.1
19 ゴ ム	221	0.0	377	0.1	70.8
20 皮 革	121	0.0	129	0.0	7.1
21 窯 業 ・ 土 石	23,550	4.1	18,610	2.8	▲ 21.0
22 鉄 鋼	5,287	0.9	9,156	1.4	73.2
23 非 鉄 金 属	19,552	3.4	25,383	3.8	29.8
24 金 属	30,374	5.2	27,743	4.2	▲ 8.7
25 は ん 用 機 械	5,207	0.9	3,959	0.6	▲ 24.0
26 生 産 用 機 械	19,046	3.3	29,319	4.4	53.9
27 業 務 用 機 械	4,696	0.8	5,093	0.8	8.5
28 電 子 ・ デ バ イ ス	72,552	12.5	104,497	15.7	44.0
29 電 気 機 械	51,499	8.9	61,735	9.3	19.9
30 情 報 通 信 機 械	1,389	0.2	3,108	0.5	123.8
31 輸 送 機 械	21,017	3.6	25,904	3.9	23.2
32 そ の 他	33,619	5.8	32,700	4.9	▲ 2.7

図8 付加価値額の中分類別構成比



2-6 現金給与総額（従業者4人以上の事業所）

現金給与総額は、2,631億円で、前年に比べ0.2%減となった。

産業別に内訳をみると、繊維の476億円（構成比18.1%）が最も多く、以下、電子・デバイスの429億円（構成比16.3%）、プラスチックの197億円（構成比7.5%）の順になった。

前年と比べる（寄与度順）と、輸送機械（前年比23.0%）、化学（前年比7.8%）など12業種で増加し、繊維（前年比▲4.5%）、金属（前年比▲8.5%）など12業種で減少となった。

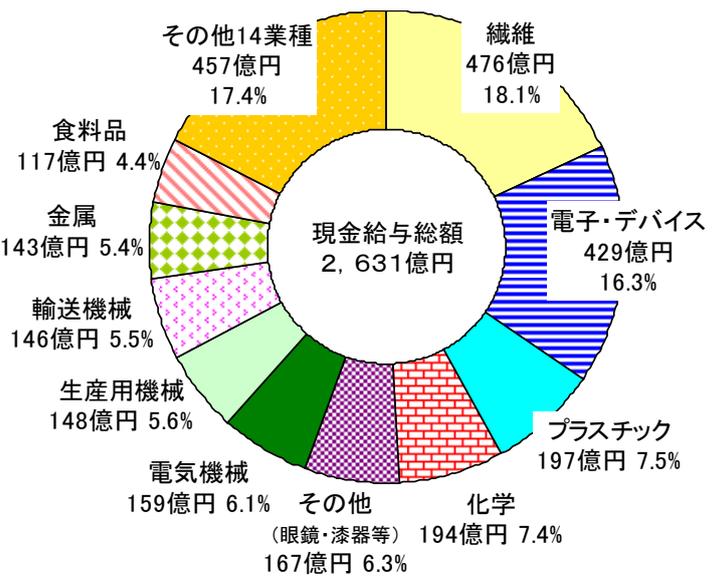
また、従業者30人以上の事業所の現金給与率は、14.0%となり、前年より1.6ポイント低下した。

【産業中分類別統計表1-1、3-3】

表7 中分類別 現金給与総額

産業中分類	21年		22年		対前年比 %
	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %	
合計	263,623	100.0	263,148	100.0	▲0.2
9 食 料 品	11,780	4.5	11,673	4.4	▲0.9
10 飲 料・飼 料	832	0.3	820	0.3	▲1.4
11 織 維	49,860	18.9	47,602	18.1	▲4.5
12 木 材	3,884	1.5	3,748	1.4	▲3.5
13 家 具	2,155	0.8	2,321	0.9	7.7
14 パ ル プ・紙	6,835	2.6	6,648	2.5	▲2.7
15 印 刷	6,959	2.6	6,871	2.6	▲1.3
16 化 学	17,955	6.8	19,363	7.4	7.8
17 石 油・石 炭	402	0.2	456	0.2	13.4
18 プ ラ ス チ ッ ク	19,097	7.2	19,654	7.5	2.9
19 ゴ ム	601	0.2	604	0.2	0.4
20 皮 革	97	0.0	90	0.0	▲7.9
21 窯 業・土 石	9,914	3.8	9,337	3.5	▲5.8
22 鉄 鋼	1,571	0.6	1,579	0.6	0.5
23 非 鉄 金 属	6,761	2.6	7,241	2.8	7.1
24 金 属	15,618	5.9	14,293	5.4	▲8.5
25 は ん 用 機 械	2,678	1.0	2,234	0.8	▲16.6
26 生 産 用 機 械	14,324	5.4	14,780	5.6	3.2
27 業 務 用 機 械	3,496	1.3	2,664	1.0	▲23.8
28 電 子・デ バ イ ス	42,792	16.2	42,885	16.3	0.2
29 電 気 機 械	15,789	6.0	15,926	6.1	0.9
30 情 報 通 信 機 械	623	0.2	1,106	0.4	77.5
31 輸 送 機 械	11,840	4.5	14,561	5.5	23.0
32 そ の 他	17,758	6.7	16,691	6.3	▲6.0

図9 現金給与総額の
中分類別構成比



2-7 原材料使用額等（従業者4人以上の事業所）

原材料使用額等は、1兆353億円で、前年に比べ8.2%増となった。

産業別に内訳をみると、電子・デバイスの1,597億円（構成比15.4%）が最も多く、以下、化学の1,545億円（構成比14.9%）、繊維の1,327億円（構成比12.8%）の順になった。

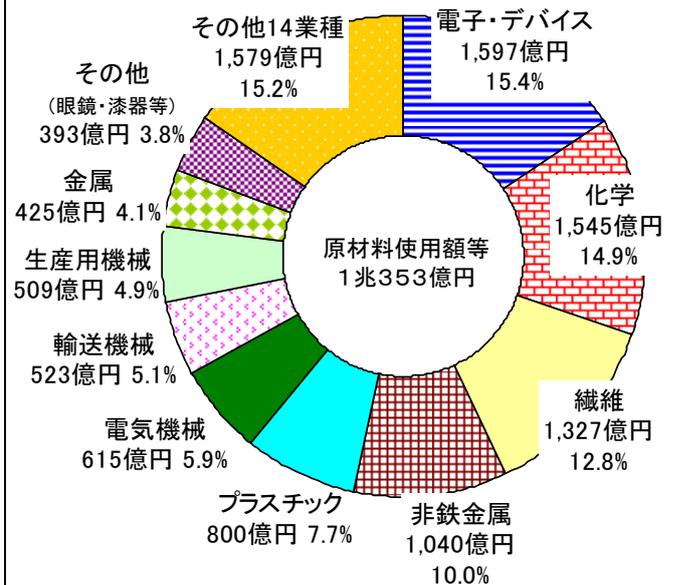
前年と比べる（寄与度順）と、電子・デバイス（前年比17.5%）、化学（前年比17.1%）など15業種で増加し、金属（前年比▲11.2%）、業務用機械（前年比▲33.6%）など9業種で減少となった。また、従業者30人以上の事業所の原材料率は、62.2%となり、前回より1.2ポイント低下した。

【産業中分類別統計表1-1、3-3】

表8 中分類別 原材料使用額等

産業中分類	21年		22年		対前 年比 %
	百万円	構成比 %	百万円	構成比 %	
合 計	957,303	100.0	1,035,333	100.0	8.2
9 食 料 品	29,457	3.1	31,499	3.0	6.9
10 飲 料・飼 料	1,919	0.2	1,999	0.2	4.2
11 織 維	129,886	13.6	132,718	12.8	2.2
12 木 材	16,024	1.7	14,935	1.4	▲ 6.8
13 家 具	6,002	0.6	5,956	0.6	▲ 0.8
14 パ ル プ・紙	25,264	2.6	25,388	2.5	0.5
15 印 刷	12,309	1.3	12,076	1.2	▲ 1.9
16 化 学	132,000	13.8	154,519	14.9	17.1
17 石 油・石 炭	3,198	0.3	2,856	0.3	▲ 10.7
18 プ ラ ス チ ッ ク	76,663	8.0	80,020	7.7	4.4
19 ゴ ム	576	0.1	387	0.0	▲ 32.8
20 皮 革	261	0.0	276	0.0	5.5
21 窯 業・土 石	25,099	2.6	24,811	2.4	▲ 1.1
22 鉄 鋼	14,117	1.5	15,918	1.5	12.8
23 非 鉄 金 属	88,339	9.2	104,013	10.0	17.7
24 金 属	47,831	5.0	42,491	4.1	▲ 11.2
25 は ん 用 機 械	7,715	0.8	10,520	1.0	36.4
26 生 産 用 機 械	43,144	4.5	50,860	4.9	17.9
27 業 務 用 機 械	8,415	0.9	5,586	0.5	▲ 33.6
28 電 子・デ バ イ ス	135,884	14.2	159,690	15.4	17.5
29 電 気 機 械	57,701	6.0	61,471	5.9	6.5
30 情 報 通 信 機 械	4,223	0.4	5,656	0.5	33.9
31 輸 送 機 械	50,422	5.3	52,343	5.1	3.8
32 そ の 他	40,856	4.3	39,343	3.8	▲ 3.7

図10 原材料使用額等の
中分類別構成比



2-8 従業者規模別（従業者4人以上の事業所）

事業所数が最も多いのは、4～9人規模の1,127事業所（構成比45.7%）で、次に10～19人規模の631事業所（構成比25.6%）となった。

前年と比べると（寄与度順）と、20～29人規模（前年比6.9%）で増加し、4～9人規模（前年比▲9.2%）、10～19人規模（前年比▲2.2%）などで減少となった。

従業者数が最も多いのは、100～299人規模の16,027人（構成比23.0%）で、次に30人～99人規模の15,706人（構成比22.6%）となった。

前年と比べると、20人～29人規模（前年比6.5%）、300人以上規模（前年比0.4%）などで増加し、4～9人規模（前年比▲8.5%）、10～19人規模（前年比▲2.5%）などで減少となった。

製造品出荷額等が最も多いのは、300人以上規模の6,226億円（構成比34.5%）で、次に、100～299人規模の5,123億円（構成比28.4%）となった。

前年と比べると、300人以上規模（前年比14.2%）、100～299人規模（前年比7.0%）などで増加し、10～19人規模（前年比▲4.7%）、4～9人規模（前年比▲4.4%）で減少となった。

【従業者規模別統計表1-1】

図11 従業者規模別 事業所数構成比の推移（従業者4人以上の事業所）

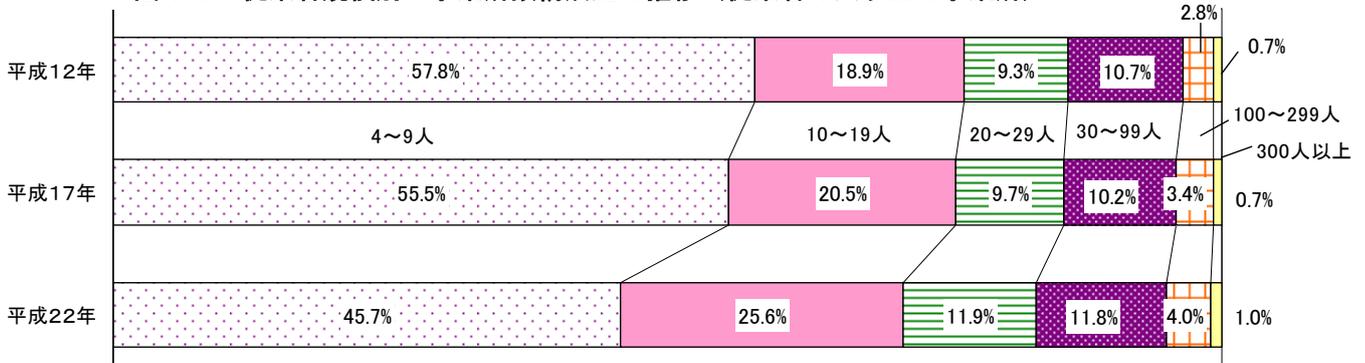


図12 従業者規模別 従業者数構成比の推移（従業者4人以上の事業所）

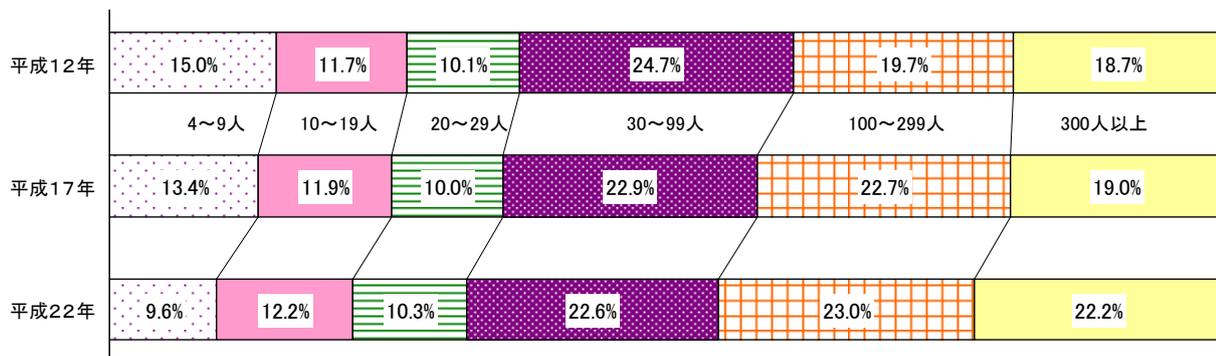
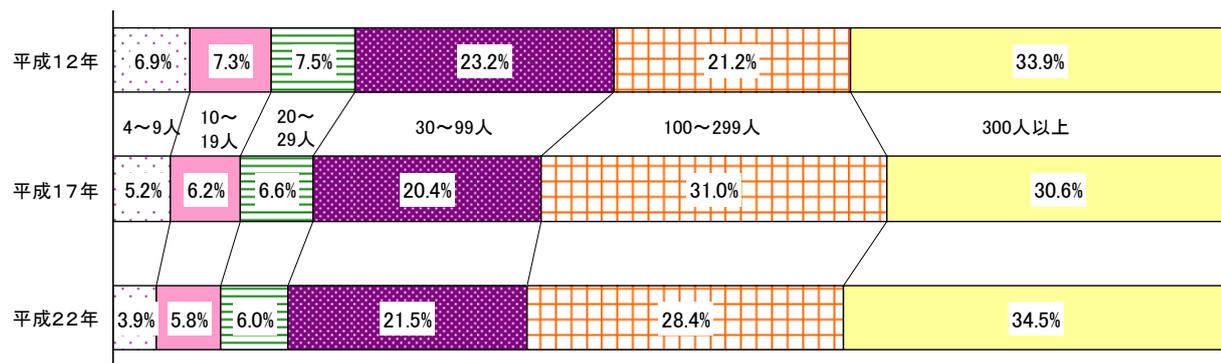


図13 従業者規模別 製造品出荷額等構成比の推移（従業者4人以上の事業所）



2-9 市町別（従業員4人以上の事業所）

事業所数が最も多いのは、福井市の639事業所（構成比25.9%）で、以下、鯖江市の410事業所（構成比16.6%）、坂井市の372事業所（構成比15.1%）の順となった。

前年と比べる（寄与度順）と、おおい町（前年比16.7%）で増加し、福井市（前年比▲4.9%）、越前市（前年比▲4.1%）など9市6町で減少となった。（美浜町は増減なし。）

従業員数が最も多いのは、福井市の16,182人（構成比23.3%）で、以下、越前市の14,409人（構成比20.7%）、坂井市の9,859人（構成比14.2%）の順となった。

前年と比べる（寄与度順）と、あわら市（前年比4.7%）、敦賀市（前年比2.5%）など4市4町で増加し、大野市（前年比▲12.6%）、福井市（前年比▲1.5%）など5市4町で減少となった。

製造品出荷額等が最も多いのは、越前市の4,254億円（構成比23.5%）で、以下、福井市の3,511億円（構成比19.4%）、坂井市の3,172億円（構成比17.6%）の順となった。

前年と比べる（寄与度順）と、越前市（前年比19.1%）、あわら市（前年比22.7%）など8市3町で増加し、若狭町（前年比▲21.6%）、勝山市（前年比▲2.3%）など1市5町で減少となった。

【市町別統計表1-1】

図14 市町別 事業所数の構成比
（従業員4人以上の事業所）

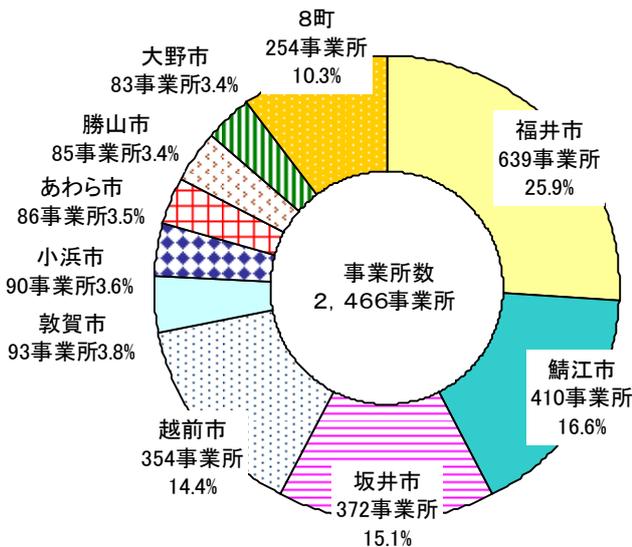


図15 市町別 従業員数の構成比
（従業員4人以上の事業所）

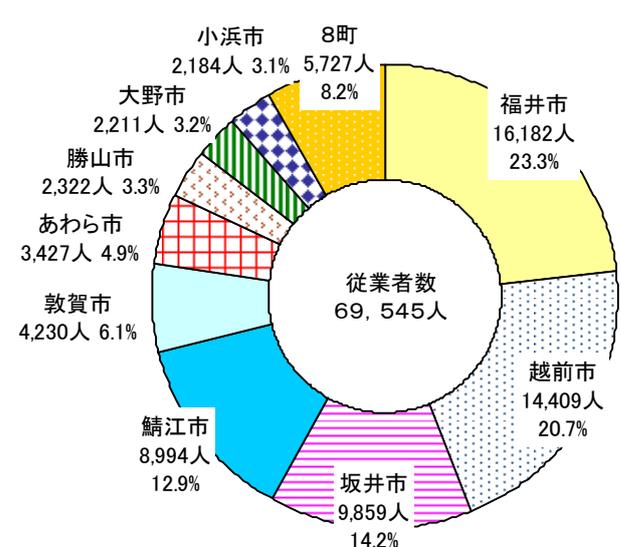
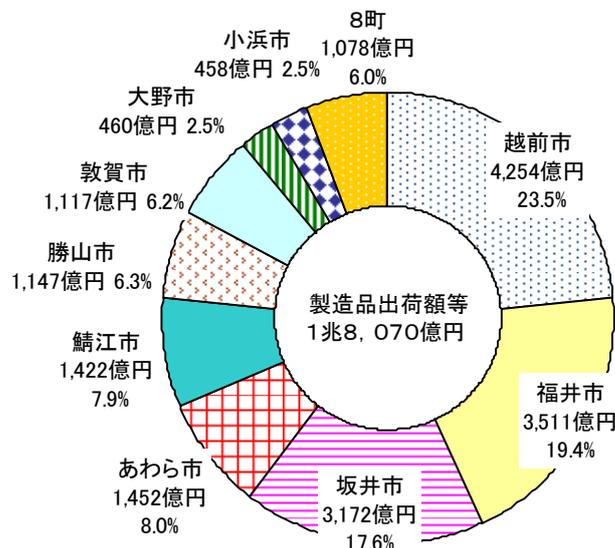


図16 市町別 製造品出荷額等の構成比
（従業員4人以上の事業所）



2-10 特産工業品（従業者4人以上の事業所）

産出事業所数は666事業所で、製造品出荷額等は1,006億円となった。
品目別にみると、産出事業所数、製造品出荷額等ともに「眼鏡・眼鏡枠」が最も多く、以下、「絹・人絹織物」、「細幅織物」の順となった。

【特産工業品目統計表1】

表9 特産工業品 産出事業所数の推移

	18年	19年	20年	21年	22年
絹・人絹織物	213	212	199	185	168
細幅織物	106	101	100	86	86
洋紙・和紙・ふすま紙	46	50	42	41	45
打刃物	14	14	14	9	11
漆器	95	90	90	84	85
眼鏡・眼鏡枠	320	309	328	281	271
合計	794	776	773	686	666

表10 特産工業品 製造品出荷額等の推移

(単位:億円)

	18年	19年	20年	21年	22年
絹・人絹織物	412	451	427	312	282
細幅織物	160	132	134	102	107
洋紙・和紙・ふすま紙	61	56	30	27	28
打刃物	4	5	5	5	4
漆器	52	50	60	54	51
眼鏡・眼鏡枠	699	701	703	575	534
合計	1,389	1,395	1,359	1,075	1,006

※ 本県の特産工業品として、「絹・人絹織物」、「細幅織物」、「洋紙・和紙・ふすま紙」、「打刃物」、「漆器」、「眼鏡・眼鏡枠」の6品目を集計した。

なお、本表では事業所において複数の種類の品目を製造あるいは賃加工している場合は、それぞれの品目で1事業所として「産出事業所数」を計上しているため、主要な製造品目ごとに事業所数を計上する産業中・細分類別統計表等の数値とは一致しない。

3-1 有形固定資産（従業者30人以上の事業所）

有形固定資産の年初現在高は、5,230億円で、年間取得額は、558億円となった。建設仮勘定の年間増減額は、+16億円となり、有形固定資産投資額は、574億円となった。

有形固定資産投資額を産業別で見ると、電子・デバイスの157億円が最も多く、以下、化学の106億円、繊維の67億円の順になった。【産業中分類別統計表3-3、3-4】

3-2 製造品等在庫額（従業者30人以上の事業所）

製造品等在庫額の年末在庫額は、1,702億円で、年間在庫増減額は、+35億円となった。年末在庫額を産業別で見ると、化学の329億円が最も多く、以下、電子・デバイスの247億円、繊維の201億円の順になった。

なお、在庫率は11.9%となり、前年より1.3ポイント低下した。

【産業中分類別統計表3-5、3-7】

3-3 工業用地、用水（従業者30人以上の事業所）

工業用地敷地面積は1,225万 m^2 で、前年に比べ17万 m^2 減となった。

産業別に内訳をみると、繊維の315万 m^2 が最も多く、以下、化学の158万 m^2 、非鉄金属の134万 m^2 の順となっている。

市町別に内訳をみると、坂井市の262万 m^2 が最も多く、以下、福井市の231万 m^2 、越前市の178万 m^2 の順となっている。【用地・用水統計表1-1、1-3】

工業用水の1日当りの使用量は74万 m^3 で、前年に比べ3万 m^3 増となった。

1日当たりの水源別用水量では、回収水の44万 m^3 が最も多く、以下、井戸水の21万 m^3 、工業用水道の6万 m^3 の順となっている。

1日当たりの用途別用水量では、冷却用水・温調用水の57万 m^3 が最も多く、以下、製品処理・洗じょう用水の13万 m^3 、その他の2万 m^3 の順となっている。【用地・用水統計表1-2】